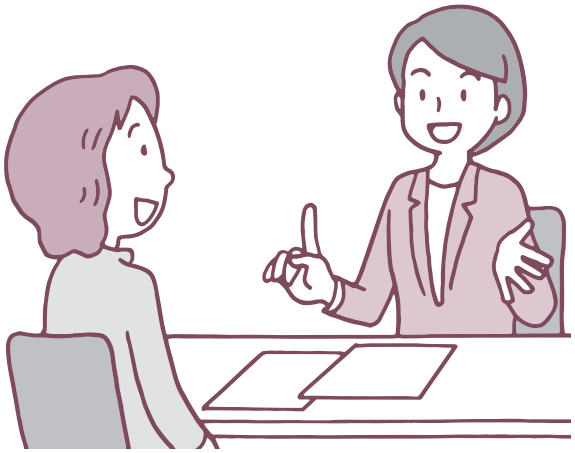
男女共同参画の視点

大切にしよう 相手の気持ち・自分の気持ち

皆さんは家族や友人、恋人との会話を大切にしていますか。日常の会話の中で、何げなく発した言葉が相手を落ち込ませてしまったり、イライラさせたりしてしまうことは、しばしばあるものです。自身を振り返ってみてください。いつもそばにいる人や気の置けない友人に対して、あまり気を遣わなくなっていたりしませんか。



また「気持ちを言葉にしなくても分かり合える」という考えは、相手に不満を感じさせてしまう原因になり得ます。自分の気持ちを伝えずに過ごしていると、相手が不満を抱え込み、自分自身を見失ったり、孤独を感じたりするかもしれません。

身近な人との関わりだからこそ、相手の気持ちを考えた上で、自分の気持ちをしっかり言葉で伝えるということを大切にしましょう。

女性のための相談

市では、女性のエンパワーメント（あらゆる分野で自分の意志により行動できる能力を得ること）を支援する「女性のための相談」を実施しています。家庭・職場での悩み、自分自身の生き方についての不安などを抱える数多くの女性が利用しています。

女性相談員（カウンセラー）が、家族のことや人間関係、DVなど、女性が抱えるさまざまな問題についての相談に応じます。心を休めて気持ちを整理し、明日への活力を養うために利用してみませんか。日程などは13ページで確認してください。

※くわしくは市民協働課（☎20-1507）へ。

消費生活相談Q&A

新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺に注意

Q 市役所の職員を名乗る人から「新型コロナウイルス感染症対策として助成金を配っている。75歳以上の人に3万3,000円が支給されるので、振込先の口座番号と口座名を教えてほしい」と電話がありました。手元に口座情報がないので分からないと答えて教えませんでしたが、どうしたらよかったのでしょうか。

A 新型コロナウイルス感染症対策に便乗し、市役所などの公的機関になりすまして個人情報などを詐取しようとする電話が相次いでいます。公的機関が口座番号を直接聞き出すような指示をすることはありません。電話やメールなどで「助成金を振り込むので振込先を教えてほしい」と連絡があった場合は詐欺の可能性があるので注意しましょう。

インターネット上でも注意を

今回の事例のほかにも、マスクの品薄が続いている状況に便乗して「マスクを購入できる」という書き込みや広告がSNSなどで確認されています。記載されているリンク先へアクセスすると通販サイトに誘導され、注文ページで個人情報やクレジットカード番号などを入力すると、その情報を不正に取得される可能性があります。

書き込みや広告の内容をうのみにせず、通販サイトに記載されている住所や電話番号の表示、注文手続きに不審な点はないかを慎重に確認しましょう。

今後も新たな手口で行われる可能性があります。少しでもおかしいと感じたら、早めに消費生活センターに相談してください。

※くわしくは同センター（☎23-1161）へ。